

★空気のような「平和憲法」

― 気づかないけれど欠かせない平和憲法 ―

◆皆さんは毎日この国の平和憲法を意識して生活していますか？おそらく意識してはいないのではないかと思います。でもそれなくしては、平和で幸せな生活はあり得ないのです。

★争点にならなかつた憲法改正

◆小泉政権の時行われた選挙、そのとき国民は郵政民営化に賛成かどうかの一点のみが問われました。つまり、憲法改正は問われませんでした。

◆そして大勝した政権を引き継いだ安倍首相は、この時とばかりに憲法改正に向かって走り出しました。憲法改正のための国民投票法、愛国心教育を盛り込んだ教育基本法改正。これらは国民が承認したことではありませんでした。

★今回も争点にならなかつた参院選

◆今回の参院選、安倍政権は本当は憲法改正を前面に押し出して戦いたかったのですが、年金問題、政治とカネ、格差問題が争点となつて、与党は惨敗しました。憲法を変えてほしいという意識は国民になかつたからです。

★なぜ平和憲法を変えて戦争のできる国へ？

◆しかし戦後レジームから脱却と言って、戦後六十二年の平和を支えた平和憲法を変えて、戦争のできる国にしようという安倍さんの本音は変わっていません。

◆私たちは平和だから年金問題、政治とカネ、格差問題を口にする事ができません。平和憲法あつての自由であり、平和と幸せなのです。なのになぜ憲法を変えなければならぬのでしょうか？

★平和憲法で国際貢献、これが日本の使命です

◆国際貢献は武力で！これが普通の国だ、という考えがあります。そのための憲法改正という主張があります。それが間違いだというのはイラク戦争の結果を見ると明らかです。

◆では、日本は何で国際貢献するか？ それこそ平和憲法の力です。武力ではなく平和外交、貧困をなくすための経済援助などやれることはいくらでもあります。これが日本の存在理由であり日本の使命です。

二〇〇七年九月九日(日) 第四八七回憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市紺屋町三〇一―一五

★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

行進 アップール

ご通行中の皆さん、ドライバーの皆さん、
憲法擁護を訴え続けて40年、ただいま「浜松市憲法を守る会」の第487回
目の平和行進を行っております。

今日は、日常、空気のように気がつかないけれど、それがなくては平和で幸せ
な生活はあり得ない平和憲法について訴えて行進しています。

今回の参議院選挙、安倍首相は本当は憲法改正を前面に押し出して選挙を戦い
たかったのですが、年金問題や政治とかの問題、そして貧富の問題などにかき
消されて大敗を喫しました。

憲法を変えてほしいという意識は国民になかったからです。
しかし、憲法を変えて戦争のできる国にしたいという安倍さんの本音は変わっ
ていません。

私たちは、平和だから年金の問題や格差の問題などを口にする事ができます。
平和憲法あつての自由であり平和で幸せな生活なのです。

なのに、なぜ憲法を変えなければならないのでしょうか？

安倍さんは、日本が国際貢献するためには、武力を使えるようにすることが必
要だ、これが普通の国だと言います。そのために、戦争のできない いまの憲
法を変えて戦争のできるようにしなければならぬと言います。

武力で国際貢献、つまり武力で物事を解決するということが間違いだというの
はイラク戦争の混乱を見ればすぐわかります。

では、日本は何で国際貢献するのか？ それこそ平和憲法の力です。

武力ではなく平和外交、貧困をなくすための経済援助などやれることはいくら
でもあります。これが日本の存在理由であり日本の使命だと私たちは確信して
います。

平和憲法は、空気のようなものです。普段、その存在にあまり気づきませんが、これ
なくして、平和で幸せな日常はないのです。この憲法を変えてしまうことは、私たち
の平和な日常を捨てることになります。

今日はそのことをどうぞわかってください。